

日工會報

会長挨拶

同窓会会長 梶山 隆範



日工会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は茨城県において「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されました。同じく開催が予定されていた「いきいき茨城ゆめ大会」は残念ながら台風十九号の接近に伴い、中止となりました。まずは昨年の豪雨被害に遭われた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、日立市においてはご即位されたばかりの天皇皇后両陛下が池の川さくらアリーナにて国体の卓球競技を御覧になりました。沿道まで日本国旗を手にした多くの市民で溢れ、その光

景には私も大変感激いたしました。会員の皆様におかれましては選手・チーム関係者として、また運営やボランティアとしてこの一大行事に携わった方々も多かったかと存じます。日工の生徒の皆さんにつきましても、街頭キャンペーンや大型カウンターダウンボードの制作などで、茨城国体の機運醸成のために活躍されました。

母校の話題に目を向けますと、三年に一度の日工祭が行われました。天候にも恵まれ八百名あまりの来場者で大変賑わい、大盛況のうちに終了したと報告を受けております。今回の会報では特集記事が掲載されているとのことなので、ぜひご覧になっていただければ幸いです。我が日工会といたしまして、私も、昨年の総会において、三年に一度の祭典をぜひ盛り上げたいというご意見から微力ながら支援いたしました。母校の祭典に花を添えられたのならこれ以上ない喜びであります。

部活動においても茨城国体では本校の野球部・サッカー部・バスケットボール部・卓球部を

はじめ多くの部員が、日立市のみならず国体競技の各開催地にて補助員として大変ご活躍されたと聞いております。さらに陸上競技部からは国体出場選手も輩出したということでも誇らしく思います。また、今年度においては本校の全ての運動部が県大会への出場を果たし、活躍したと聞いております。今年はいよいよ東京オリンピックが開催されることもあり、スポーツが日本中に明るくニューズを届けてくれること存じます。高校生に活躍の場を、運動部・文化部問わず部活動をとらして青春を謳歌してもらいたいものです。

今年度の進路状況においては就職希望者・進学希望者ともに順調に内定を頂いている状況であると聞いております。卒業生の諸君におかれましては四月から新生活が始まること存じますが、高校生活での様々な経験を糧に、胸を張って新しい環境に飛び込んでいってほしいと思います。母校の先輩として心から応援しています。

結びに、日工会会員の皆様におかれましては、日工会・母校

第27号
令和2年2月26日
発行 日立工業高校同窓会
発行所 同窓会事務局
日立市城南町2-12-1
☎ 0294 (22) 1049
FAX 0294 (21) 4591
印刷所 SATOプリント
☎ 0294 (33) 0883

学校長挨拶

学校長 川嶋 正人



同窓会会員の皆様には、日頃より、本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を頂き、心から感謝申し上げます。本校は、今年度で創立七十七年を迎えました。卒業生は一万四千六百を超え、県北地区をはじめ県内はもとより、広く県外・各界において大いに活躍されております。同窓生の皆様のご活躍に深く敬意を表します。

今年度は、初日の平成三十一年四月一日に、新元号が「令和」と発表され、五月一日に改元されました。新時代「令和」のスタートの記念すべく節目の年となりました。

七月の野球選手権茨城大会では、一回戦対岩瀬日大戦で、三回まで、〇対七でリードされていたのを、見事ひっくり返し、十四対八で勝利しました。野球部員の「最後まで諦めない」と、

への変わらぬご理解・ご支援をお願い申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝と日立工業高校の更なる発展をご祈念申し上げます。会長挨拶といたします。

全校生徒の「信じて応援する」が、ONE TEAMとなりました。生徒・教職員・保護者・OBが丸となって、喜びを感じる事ができました。「最後まで諦めない」「信じて応援する」は、人生の教訓であり、教育効果は大きい。奇跡ともいえる逆転劇を全校で味わい共感できたことを、大変嬉しく思っています。その後、二回戦は対古河三戦で四対三で勝利、三回戦は対水城(ベスト4)戦で敗れたものの二対六で健闘しました。

九月末から十月始にかけて、四十五ぶりに茨城国体「いきいき茨城ゆめ国体」が開催され、天皇杯・皇后杯とも獲得しました。本校三年陸上部、赤津勇進君が、少年男子A五kmに出場し十五位になりました。また、各競技において、運動部の生徒が県内各地へ、ボランティアに赴きました。自分がやっている競技の全国レベルのプレーを身近に観戦することができ、高校時代の良き思い出とともに、刺激になったことと思います。天皇・皇后両陛下が、卓球競技を観戦された池の川さくらアリーナには、本校で製作したカウンターダウンボードが設置されました。冬の国民体育大会には、三年スキー部の木村友哉君が出場します。

十一月、三年に一度の日工祭が開催されました。テーマは「バズれ！日工祭！我らの青春、ここにあり！」です。同窓会から多額の支援を頂き、受け付けた来場者だけでも約八百名